

当初予算の主要事業

1. 心地よく住みやすいまちをつくる

27億8,049万円

- 道路・交通網等の整備**…道路橋りょう新設・改良、舗装、側溝整備、四国横断道整備促進
- 住宅の整備**…〈仮称〉春日野団地建設
- 下水道の整備**…公共下水道整備、都市下水道整備
- 防災・消防・防犯体制の整備**…LED防犯灯整備、災害時要支援者システム整備、災害時医療救護所開設用備品等整備、木造住宅耐震改修促進事業、住まいの安全・安心リフォーム支援、危険廃屋等除却支援、津波避難所整備、消防施設整備、非常用備蓄品等整備、桑野川洪水ハザードマップ作成、自主防災組織育成、津乃峰総合センター建設、Wi-Fi（ワイワイ）王国！とくしま関連事業
- 地域情報化の推進**…電子自治体の構築、マイナンバー制度導入準備

2. 健やかで笑顔のあるまちをつくる

102億1,753万円

- 地域福祉の推進、保健・医療の充実**…社会福祉事業等活動費補助、自殺予防対策緊急強化、臨時福祉給付金事業、生活困窮者自立支援事業、小児慢性特定疾患児日常生活用具給付、地域医療確立対策補助金、各種予防接種、母子保健対策、妊婦一般健康診査、妊婦訪問、不妊治療費助成、女性特有のがん検診等各種健康診査、第2次食育推進計画策定
- 高齢者福祉・子育て支援・障がい者福祉の充実**…障がい者自立支援、障がい者地域生活支援、地域活動支援センター運営事業費補助、人工内耳電池費用助成、敬老会助成、高齢者住宅改修促進、児童手当給付、子育て世帯臨時特例給付金事業、放課後児童クラブ運営、〈仮称〉岩脇こどもセンター建設、病児・病後児保育、こども医療費助成、未熟児養育医療費助成、ファミリーサポートセンター運営事業

3. 美しくひかり輝くまちをつくる

3億4,976万円

- 環境循環型社会の形成**…生物多様性保全・活用事業支援、資源ごみ回収団体奨励、住宅用太陽光発電システム導入支援、電気式（乾燥式）生ごみ処理機購入助成
- 治山・治水の推進**…古津川排水対策、急傾斜地崩壊対策
- 衛生環境行政の充実**…生活排水対策推進計画策定
- 公園・緑化の推進**…防災公園整備（津乃峰・ゆたか野・富岡東部地区）、中心市街地活性化広場公園整備、ふれあいパーク整備（辰己地区）

4. 活力と夢を育むまちをつくる

6億7,223万円

- 農林漁業の振興**…地域農業振興事業、経営所得安定対策、人・農地問題解決支援事業、農業用施設整備、多面的機能支払交付金事業、森林整備地域活動支援交付金事業、有害鳥獣対策、沿岸漁業等振興事業
- 商工業・観光の振興等**…光のまちづくり事業補助、あななんPR事業、AMA地域連携・交流事業、「祭り」の活性化、野球のまち阿南推進協議会補助、東京六大学オールスターゲーム in 阿南開催
- 雇用環境・消費者行政の充実**…消費生活センター運営、緊急雇用創出事業

5. 豊かな心と学びのあるまちをつくる

17億3,548万円

- 生涯学習環境の整備**…ふるさと活性21活動補助、公民館耐震診断
- 学校教育等の充実**…外国青年招致、児童・生徒用パソコン等更新、中野島小学校校舎増築、阿南中学校屋内運動場改築、私立幼稚園施設型給付負担金等支援、阿南中央給食センター建設
- 人権の尊重**…人権フェスティバル開催
- 男女共同参画社会の推進**…配偶者暴力相談支援センター開設、女性のための生き方なんでも相談
- 健康増進・体力づくりと生涯スポーツの振興**…屋根付き多目的広場整備、こころのプロジェクト「夢の教室」開催、こども水泳講座開催、トップアスリート招致事業補助、那賀川流域センチュリーラン開催補助、体育施設整備（那賀川スポーツセンター防水改修ほか）
- 豊かな歴史文化の継承と新しい文化の創造等**…市民会館ほか自主事業、郷土史編さん、〈仮称〉北條民雄文学賞、ふるさと創作ミュージカル「新開桜」公演（市内小・中学生向け公演）

6. みんなで築くまちをつくる

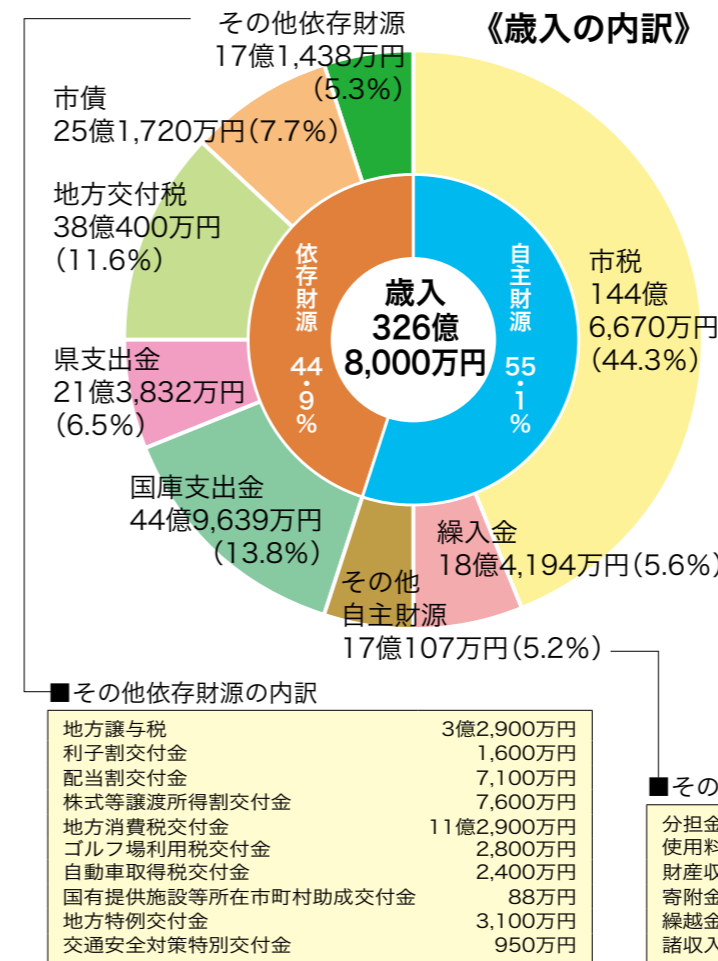
48億6,436万円

- 地域コミュニティの形成**…〈仮称〉伊島住宅建設
- 市民と行政との協働体制の推進**…婚活応援事業
- 広域行政の推進**…定住自立圏共生ビジョン事業の展開
- 効率的な行政運営**…総合計画後期基本計画策定、業務継続計画（BCP）策定、人事評価制度導入支援業務委託、庁舎建設、東京事務所運営
- 健全な財政運営**…公共施設等総合管理計画策定、固定資産台帳等整備、長期債の償還

平成27年度
一般会計
当初予算

326億8,000万円

阿南市財政事情の公表に関する条例第2条の規定に基づき、平成26年度および平成27年度に係る財政事情を公表します。平成27年4月1日 阿南市長 岩茂嘉仁

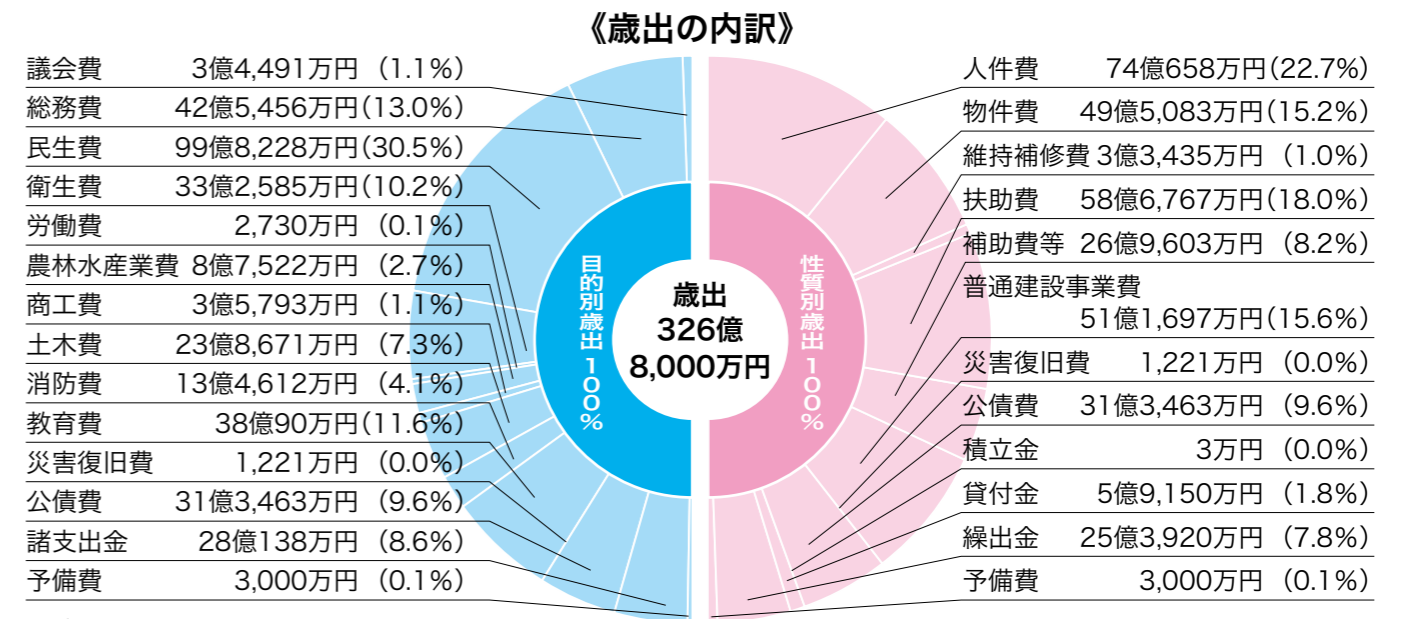


本市の平成27年度当初予算額については、一般会計が326億8千万円であり、前年度に比べ5.7%の減、特別会計の合計が、前年度比11.5%増の199億9,275万3千円、水道事業会計は収益的支出で0.6%減の15億4,208万7千円となっております。

新年度予算は、第5次阿南市総合計画「しあわせ阿南2020」の基本理念に沿って、当面する課題である南海トラフ巨大地震に備え、教育施設の改築など防災・減災・消防体制の整備、安心して子育てができる環境づくり、豊かな心と学びのあるまちづくり、高齢者福祉の充実、衛

生環境行政および保健・地域医療の充実、農林漁業の振興および生活関連道路、公共下水道等の整備など、特に生活環境に係るものを優先し、災害に強い安全で安心なまちづくりの推進を図ることを念頭に編成しました。

今後とも、行財政全般にわたる改革を積極的に推進し、快適・輝き・創造の未来への礎を築き、市民の皆さまが生き生きと輝き、しあわせで、安全安心に暮らすことができる阿南市をめざして、市民との協働により、全力をあげて取り組んでまいります。ご理解とご協力をお願いします。



注) 金額は万円未満を端数調整しています。

特別会計の状況

平成26年度現計予算、収入済額および支出済額は、平成25年度繰越明許費を含んでいます。

(単位：万円)

会計名	平成27年度 当初 A	平成26年度 当初 B	比較 (A-B)	平成26年度 現計予算 (3月補正含む)	収入済額 (平成27年 2月28日現在)	支出済額 (平成27年 2月28日現在)
住宅新築資金等貸付事業特別会計	2,134	2,929	△795	2,929	1,067	1,184
加茂谷財産区運営事業特別会計	36	36	0	36	36	0
伊島財産区運営事業特別会計	169	163	6	163	164	0
国民健康保険事業特別会計	98億800	81億1,000	16億9,800	89億8,000	58億5,189	70億45
加茂谷診療所事業特別会計	9,200	9,500	△300	1億26	6,706	7,011
伊島診療所事業特別会計	1,800	1,800	0	1,800	734	1,187
公共下水道事業特別会計	8億1,420	8億8,300	△6,880	8億8,300	7,923	3億784
介護保険事業特別会計	76億1,500	74億8,000	1億3,500	79億4,327	67億8,154	63億5,509
伊島地区生活排水処理事業特別会計	775	720	55	720	749	178
学校給食事業特別会計	4億300	4億1,300	△1,000	4億1,300	3億587	2億8,891
奨学資金貸付事業特別会計	1,969	1,958	11	1,958	1,402	1,072
春日野地域下水道事業特別会計	3,872	4,152	△280	4,152	1,734	1,406
羽ノ浦農業集落排水事業特別会計	1億9,440	1億2,930	6,510	1億3,290	3,331	6,958
豊香野地区生活排水処理事業特別会計	460	470	△10	470	328	224
後期高齢者医療特別会計	9億5,400	10億220	△4,820	10億220	6億6,600	6億4,488

水道事業会計の状況

(単位：万円)

区分	平成27年度 当初 A	平成26年度 当初 B	比較 (A-B)	平成26年度 現計予算 (3月補正含む)	収入済額 (平成27年 2月28日現在)	支出済額 (平成27年 2月28日現在)
収益的	収入	15億4,915	15億6,154	△1,239	15億6,154	11億2,398
	支出	15億4,209	15億5,216	△1,007	15億5,216	5億8,184
資本的	収入	7億7,368	1億5,385	6億1,983	1億5,385	620
	支出	13億5,780	7億5,455	6億325	7億5,455	3億2,917

市債現在高の状況

(単位：万円・%)

区分	平成26年度末現在高見込み		平成27年度末現在高見込み	
	見込額	構成比	見込額	構成比
(1) 普通債	247億5,876	72.6	249億9,928	73.8
1 総務	19億1,268	5.6	21億5,630	6.4
2 民生	9億2,081	2.7	9億7,631	2.9
3 衛生	42億7,595	12.5	41億1,943	12.2
4 農林水産	9億3,358	2.7	7億8,755	2.3
5 商工	3,016	0.1	4,757	0.1
6 土木	73億2,251	21.5	69億9,452	20.6
7 公営住宅	14億2,201	4.2	14億7,204	4.4
8 消防	23億2,745	6.8	24億570	7.1
9 教育	56億1,361	16.5	60億3,986	17.8
(2) 災害復旧債	1億5,490	0.5	1億4,414	0.4
1 単独災害	28	0.0	0	0.0
2 補助災害	1億5,462	0.5	1億4,414	0.4
(3) その他	91億5,906	26.9	87億5,072	25.8
1 減収補てん債	5億6,250	1.7	4億3,750	1.3
2 減税補てん債	5億7,845	1.7	4億9,760	1.4
3 臨時収補てん債	9,171	0.3	6,175	0.2
4 一般会計出資債	4億1,551	1.2	3億9,835	1.2
5 臨時財政対策債	75億1,089	22.0	73億5,552	21.7
合計	340億7,272	100.0	338億9,414	100.0

市有財産の状況(平成26年3月31日現在)

区分	土地 (㎡)	建物 (㎡)
行政財産	1,887,873	408,092
普通財産	44,350	1,256

基金の状況(平成26年度末現在高見込み)

財政調整基金	136億4,014万円
減債基金	31億8,289万円
特定目的基金	66億2,324万円
定額資金運用基金	4億9,689万円

市税負担の概況

市税総額 144億6,670万円

- 1世帯当たりの税額 479,395円
- 1人当たりの税額 190,236円

行政経費支出の概況

- 1世帯当たりの支出額 1,082,944円
- 1人当たりの支出額 429,740円

※ 2月末現在の人口(76,046人)、世帯数(30,177世帯)より試算

平成26年度一般会計予算の執行概況

(単位：万円)

歳入			歳出		
区分	平成26年度現計予算 (3月補正含む)	収入済額 (平成27年2月28日現在)	区分	平成26年度現計予算 (3月補正含む)	支出済額 (平成27年2月28日現在)
市税	154億4,160	132億677	議会費	3億3,656	3億1,487
地方譲与税	3億3,800	2億496	総務費	69億5,600	33億239
利子割交付金	2,400	1,628	民生費	110億4,617	93億5,251
配当割交付金	5,000	2,129	衛生費	37億5,308	24億890
株式等譲渡所得割交付金	3,700	0	労働費	3,719	3,122
地方消費税交付金	8億2,300	5億7,936	農林水産業費	9億2,708	4億8,399
ゴルフ場利用税交付金	3,000	1,934	商工費	3億5,707	2億2,533
自動車取得税交付金	2,800	1,475	土木費	34億6,091	15億666
国有提供施設等所在市町村助成交付金	88	93	消防費	17億697	10億3,707
地方特例交付金	3,100	3,018	教育費	40億7,260	30億6,415
地方交付税	41億2,910	36億2,893	災害復旧費	2億8,852	3,338
交通安全対策特別交付金	950	350	公債費	33億3,282	17億3,593
分担金及び負担金	4億5,760	3億6,777	諸支出金	36億3,434	21億8,404
使用料及び手数料	4億8,740	3億9,159	予備費	1,769	0
国庫支出金	57億946	33億8,675	合計	399億2,700	256億8,044
県支出金	23億245	2億770			
財産収入	4,391	6,842			
寄附金	5億1	5億1,601			
繰入金	33億5,110	197			
繰越金	11億849	11億849			
諸収入	8億7,660	1億5,129			
市債	41億4,790	0			
合計	399億2,700	239億2,628			

平成26年度現計予算、収入済額および支出済額は、平成25年度繰越明許費を含んでいます。

■期末、勤勉手当の状況（平成26年度支給割合）

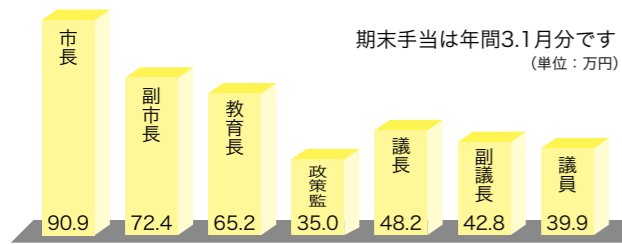
	期末手当	勤勉手当	職制上の段階、職務の級等による加算措置の有無	
6月期	(1.025月分) 1.225月分	(0.875月分) 0.675月分		
12月期	(1.175月分) 1.375月分	(1.025月分) 0.825月分		
計	(2.2月分) 2.6月分	(1.9月分) 1.5月分		

カッコ内は特定管理職員

■退職手当の状況（支給割合）

	勤続20年	勤続25年	勤続35年	最高限度額
自己都合	21.62月分	30.82月分	43.70月分	52.44月分
勲奨・定年	27.025月分	36.57月分	52.44月分	52.44月分

■特別職の報酬月額等の状況



■職員の経験年数別平均給料月額状況

区分	経験年数10年	経験年数15年	経験年数20年
一般職 大学卒	251,100円	301,300円	345,500円
一般職 高校卒	220,600円	254,700円	305,400円

■扶養手当の状況

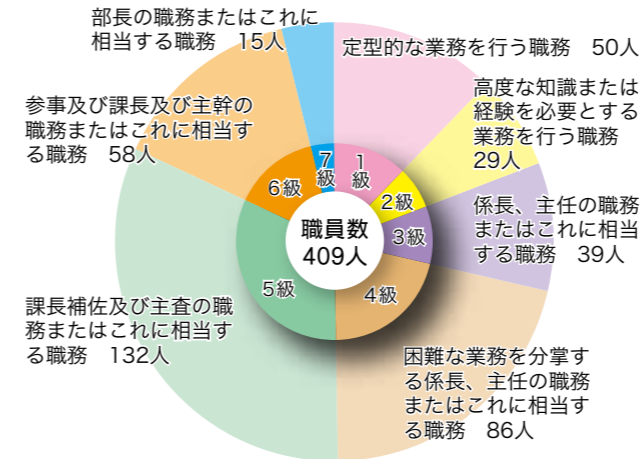
扶養親族	支給月額
配偶者	13,000円
子等配偶者以外の扶養親族	1人につき6,500円
配偶者のいない職員の扶養親族1人目	11,000円
満16歳の年度始めから22歳の年度末までの子	1人につき5,000円を加算

■住居手当の状況

区分	内容（支給月額）	国の制度との異同	
借家（間）	月額23,000円以下の家賃	家賃から12,000円を控除した額	同
	月額23,000円を超える家賃	27,000円を限度とし算定した額	同

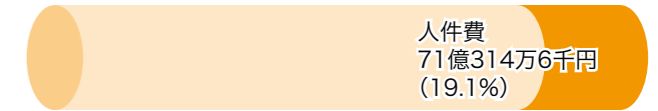
阿南市職員の給与の現状

■一般行政職の級別職員数の状況

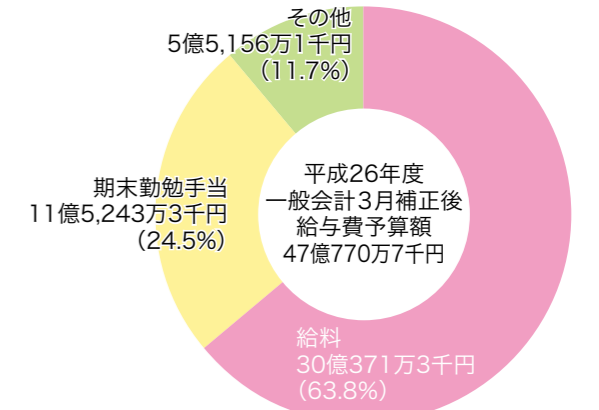


■人件費の状況

平成26年度
一般会計3月補正後予算総額 372億4,450万円



■職員給与費の状況



(1人当たり給与586万3千円)

■職員の平均給料月額及び平均年齢の状況

区分	平均給料月額	平均年齢
一般職（普通会計）	311,545円	43.01歳

■職員の初任給の状況

区分	阿南市		国	
	決定初任給	採用2年経過日の給料額	初任給	採用2年経過日の給料額
一般職	大学卒	174,200円	186,100円	186,100円
	高校卒	142,100円	153,300円	153,300円

区分		平成23年計画始期	平成24年1年目	平成25年2年目	平成26年3年目	平成27年4年目	平成28年5年目	平成24年～28年計	(参考)数値目標
一般行政	職員数	574	559	559	550			—	551
	増減		△15	0	△9			△24	△23
教育	職員数	158	158	154	153			—	155
	増減		0	△4	△1			△5	△3
消防	職員数	103	102	103	100			—	105
	増減		△1	1	△3			△3	2
公営企業等	職員数	67	65	60	61			—	64
	増減		△2	△5	1			△6	△3
計	職員数	902	884	876	864			—	875
	増減		△18	△8	△12			△38	△27

(注) 1. 計画期間は、平成24年～平成28年の5年間です。
2. 増減は対前年比の職員増減数を示す。

●定員適正化計画の年次別進捗（実績）の概要

組織機構の合理化、事務事業の見直し、指定管理者制度及び民間委託等の活用、情報化による事務処理の効率化を進めることにより適正な定員管理に努めます。

●定員適正化手法の概要

率の推進に努め、財政の健全化と市民サービスの向上との均衡を保ちつつ、定員の適正化を図ります。

●定員適正化目標

阿南市行政改革推進大綱を指針として事務の合理化、効率化の推進に努め、財政の健全化と市民サービスの向上との均衡を保ちつつ、定員の適正化を図ります。

	職員数	職員数		対前年増減数	主な増減理由
		平成25年	平成26年		
一般行政部門	議会	6	6	0	
	総務	122	118	△4	業務体制の見直しによる減
	税務	36	36	0	
	民生	205	204	△1	退職不補充による減
	衛生	84	78	△6	ごみ処理施設民間委託による減
	農林水産	30	30	0	
	商工土木	13	12	△1	退職不補充による減
小計	559	550	△9	業務の増加に伴う増	
特別行政部門	教育	154	153	△1	退職不補充による減
	消防	103	100	△3	退職不補充による減
	小計	257	253	△4	
普通会計	816	803	△13		
公営企業会計等部門	病院	1	2	1	欠員補充
	水道	22	22	0	
	下水道	12	11	△1	事業進捗に伴う減
	その他	25	26	1	業務の増加に伴う増
	小計	60	61	1	
合計	876	864	△12		

(注) 職員数は一般職に属する職員数であり、地方公務員の身分を保有する退職者・派遣職員などを含み、臨時及び非常勤職員を除く。

定員管理の状況

●部門別職員数の状況と主な増減理由（各年4月1日現在）